

10月11日 4年生 小笠原流礼法「訪問先の玄関で、履き物の脱ぎ履き」

4年生は、靴の脱ぎ履きの作法を学びました。

4年2組の様子

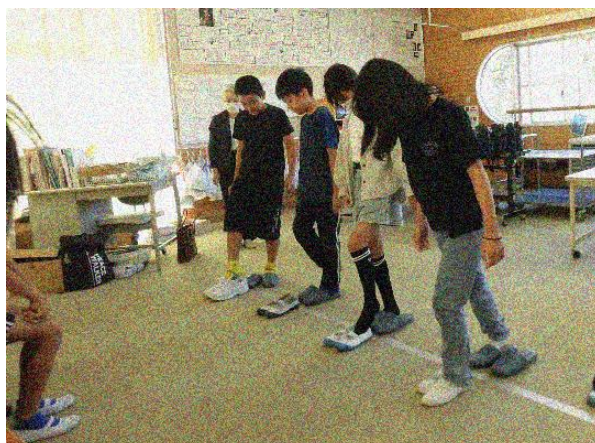
- ① あいさつ
- ② 靴を脱いで、スリッパを履きます。
- ③ 相手に背中を見せないように向きを変え
- ④ ひざをついて自分の靴をそろえ
- ⑤ 脱いだ靴を一人ずつ寄せておきます。
用件が済んだら
- ⑥ あいさつ「お邪魔しました」
- ⑦ 靴を履きやすい位置に運び、履きます。
- ⑧ 脱いだスリッパの向きを変えて
- ⑨ 「さようなら」



どのグループもできたところで、レベルアップした方法で行いました。

それは、相手から遠い足から靴を履いたり、膝をついたりすることです。立候補した子がやってみました。さらに相手に対する配慮を意識することができました。

4年1組の様子



最後に講師の先生から「脚下照顧（あしのしたをてらしてみて）」という貼り紙などがあつたら、履き物を整えましょうという意味だから、思い出してやってみてください。」と話がありました。

担任の先生からは、「自分たちも気持ちがいいし、してもらった側も気持ちよかったです。学校や家でも実行してみてください。」と話がありました。